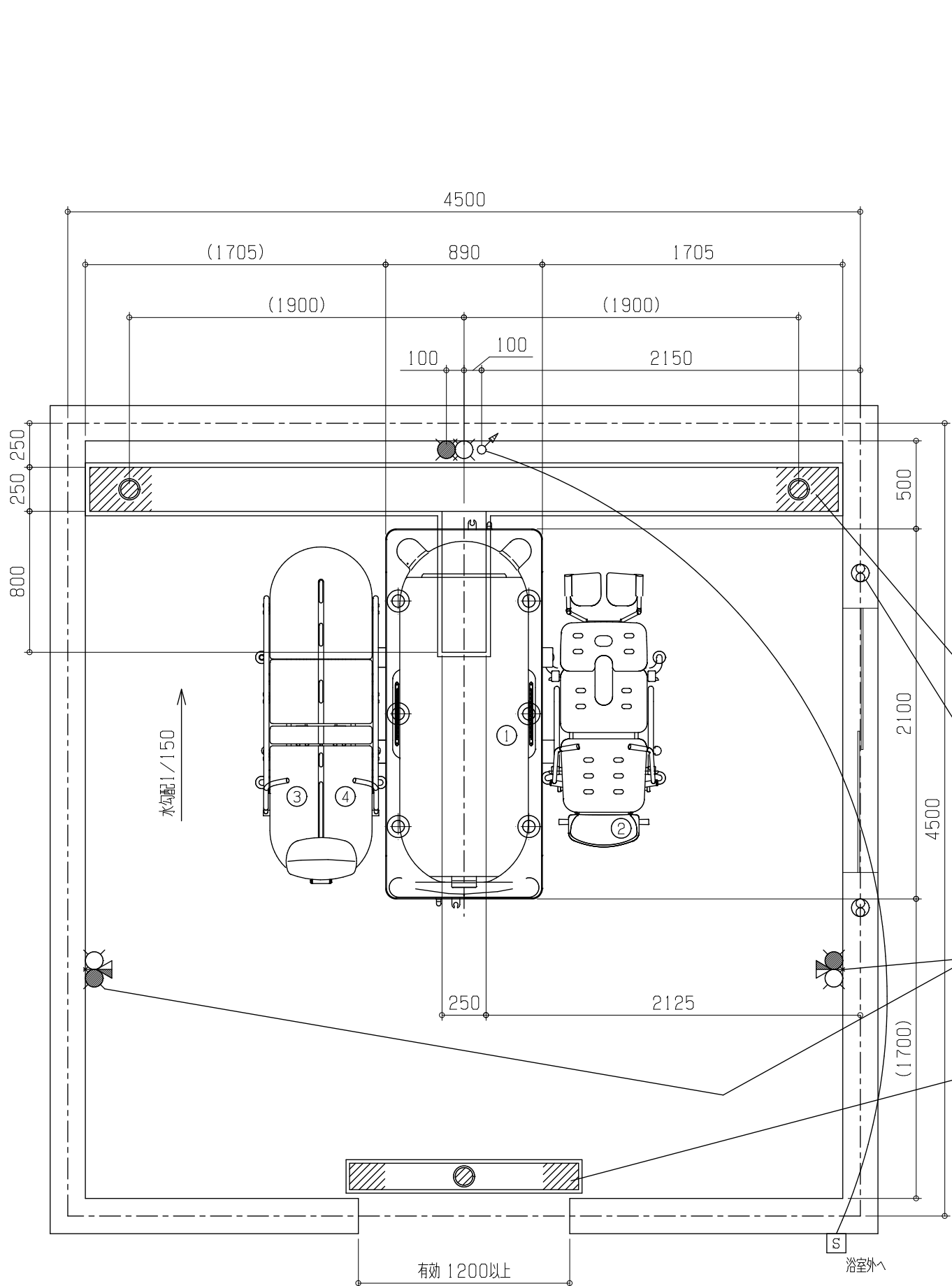




※ 本図面は、本機の標準的なレイアウト及び一次側設備内容を示しています。実際の設計時には、最寄の弊社営業所にお問合せ下さい。

● 給湯

○ 給水

⊗ 排水

⚡ 電源

□ 手元開閉器 (ブレーカー)

● 壁付コンセント

⊕ 本体脚 (マウント)

⊗ アンカー

● ミキシング

● 混合水

⊕ 換気扇

フタをして下さい。

排水目皿 (100A以上)

【排水ピット寸法図】

250

250

【排水ピット断面図】

手元開閉器より

プルボックス (防水)

管止め2~3箇所

PF管

浴槽へ

FL

PF管・電線

1800以上

【1次側 電気設備側面図 壁出し】 共に3000mm

壁出し

ボールバルブ (20A)

500以上

FL

【1次側 給湯水配管側面図 壁出し】

建築設備工事

電気工事

設備工事

工事区分	設備工事内容・注意事項	
設備工事	● 給湯 20A ボールバルブ止め (壁出しFL+500mm以上として下さい。) ○ 給水 20A ボールバルブ止め (壁出しFL+500mm以上として下さい。) (1) 水道法の水質基準に適合する水質であること。 (2) 給湯、給水圧は0.2~0.3MPa以内 (2.0~3.0kg/cm² 以内) とし、同圧になるようにすること。 (3) 給湯、給水流量は、20~30L/minのこと。 (4) 給湯温度は、60℃ (末端温度) にすること。 (5) 給湯設備は、本機専用のガス給湯器50号相当 (ボイラー能力75000kcal/h) 以上を設置すること。 ※ ガス給湯器が指定号数以下の場合、給水温によっては、給湯時間とシャワー吐出量に支障が生じる場合があります。	
電気工事	⚡ 電源 三相200V 50/60Hz 15A (アース付) ※ 分電盤から本機への配線は単独として下さい。 電源入力: 0.74kVA (50Hz) / 0.63kVA (60Hz) 電線: 単線1.6mm 又はより線2.0mm² X 4芯 (参考値) ※ 内線規定、及び、敷設状況により適切に選定して下さい。 電線管: PF管呼び22 壁出しFL+600mm以上とし、PF管・電線共に壁面より3000mm出すこと。 分電盤: 漏電遮断器 (定格電流15A、感度電流30mA) を設けること。 アース: D種接地工事 □ 手元開閉器 (ブレーカー): 三相200V 15A (浴室外に設置して下さい。) ※ 製品に異常があった際、すぐに電源を開放できる位置に手元開閉器 (ブレーカー) を設置して下さい。	
建築設備工事	⊗ ピット排水 100A トラップ付 ※ 目皿が掃除できる位置に設置して下さい。 配管口径、排水能力が不足する場合は、複数個設けること。 排水能力: 200L/min以上のこと。	
その他 注意事項	(1) 浴室内の換気には十分注意して下さい。 ※ 換気が不十分の場合は、製品内部に結露が発生し、故障につながる恐れがあります。 (2) 本機周辺の水勾配は、1/150程度のゆるやかなものとして下さい。 (3) ピット深さは水上で250mm以上として下さい。 (4) 浴室までの搬入経路は、有効開口寸法1200mm以上、通路側有効1800mm以上となるようにして下さい。 (5) 浴室外 (脱衣室等) にバッテリー充電用のコンセント (单相100V) を用意して下さい。	

グレーチングは取り外して掃除しやすい長さ
重さになるよう分割して下さい。

適切な換気設備を設けること(窓、換気扇等)。

シャワーミキシング(参考)
入浴者の洗身や浴室内の掃除の際に
カラン、シャワーがあると便利です。

目が細かく、耐荷重性能があるグレーチングを選定して下さい。
キャスター: Φ150 (単輪) 幅 約25mm ※SB7450N、SB7400N
キャスター: Φ125 (双輪) 幅 約15mm ※SB7100N

グレーチングは取り外して掃除しやすい長さ
重さになるよう分割してください。

標準設置図枠(HP) 第1版